

兵庫県最先端技術研究事業（COE プログラム）（応用ステージ研究） 平成 29 年度補助事業終了研究プロジェクトの事後評価結果について

兵庫県では、産学官連携による萌芽的な研究調査を支援するとともに、立ち上がり期の予備的、準備的な研究プロジェクトの本格的な研究開発への移行を支援する「兵庫県最先端技術研究事業（COE プログラム）」を実施しています。

今回、29 年度に本補助事業を終了した研究プロジェクト（応用ステージ研究）10 課題（28 年度に採択し、2 年間実施した研究プロジェクト 7 課題、29 年度に採択し、単年度で終了した研究プロジェクト 3 課題）について事後評価を行いました。概要は次のとおりです。

1 目的

29 年度に補助事業を終了した 10 件の研究プロジェクトについて、国等の競争的資金等を活用した研究開発、参画企業における大型研究プロジェクトの実施等による本格的な研究へ円滑につなげるとともに、今後の研究開発、事業化開発の展開に資するものとし、さらには、新産業・新事業の創出、新規雇用の創出の促進を図る。

2 評価の実施

「兵庫県最先端技術研究事業（COE プログラム）の実施に関する有識者会議」において事後評価を実施。今回評価を実施した研究プロジェクトは別記のとおりである。

3 評価結果概要

評価を実施した 10 課題のうち、8 課題については、優れた研究成果が出ており、本格的な研究又は事業化への移行が期待されるものであった。その他の課題についても、十分な研究成果が出ており、今後、本格研究への移行の可能性が十分であると評価された。

【28 年度採択：7 課題】

| 総合評価 | A | B | C | 課題数合計 |
|------|---|---|---|-------|
| 件数 | 6 | 1 | 0 | 7 |

【29 年度採択：3 課題】

| 総合評価 | A | B | C | 課題数合計 |
|------|---|---|---|-------|
| 件数 | 2 | 1 | 0 | 3 |

[総合評価の視点]

- A：優れた研究成果が出ており、本格研究又は事業化への移行が期待される。
- B：十分な研究成果が出ており、今後、本格研究への移行の可能性が十分にある。
- C：研究成果は十分とはいえず、本格研究に向けて更なる研究が必要である。

4 評価結果の反映

有識者会議構成員等から寄せられた意見・コメントについては、各研究プロジェクトの今後の本格的な研究、事業化への展開のフォローアップに資するため、各共同研究チームに伝えるとともに、今後の新規採択に係る審査、研究プロジェクトの管理及び事後評価方法等に適切に反映します。

【参考】

○補助内容

補助金額：1 課題に対し、100 万円～1,000 万円の定額を補助
助成期間：原則 1 年間（研究内容に応じて、最大 2 年間）